

空手道部紹介

空手道部の歴史は50年近くになるが、この数年間は近藤良章、草野博などの諸先輩が創設された草創期の勢いを取り戻しつつあるように思える。本年度は、全国高校空手道選抜大会に中国地方代表として出場。ベスト4になった東洋大附属牛久高校（茨城）に3対2で惜敗したが、その悔しさを5月に熊本で開催された全国高校空手道火の国旗大会にぶつけ、5回戦まで進出。4回戦では前年度優勝校の九州学院高校（熊本）を破り、初めて全国ベスト16に入ることができた。6月には、

在本拓司（3年）が岡山県高校総合体育大会において個人組手で優勝し、インターハイへの切符を獲得。3年前、赤



野弘明（現同志社大空手道部3年・2006年、関西学生個人組手3位）が全国選抜に初出場して以来、翌年の西村洋輝（現東京大空手道部2年）の埼玉国体少年個人組手3位、インターハイ男子団体組手と男子個人組手への出場、男子個人組手では坪井隆晃（旧東京都立大、現首都大）がベスト16に入るなどビッグな成績が続いている。

現在の好調の要因は、生徒たちが朝日高校の基本姿勢である「自主自立」の精神を継承し生かしているということである。おかやま山陽高校を例にとつて言わせていただくと、彼らは全国からチャンピオンクラスの空手エリートを集め、潤沢な部の予算とすばらしい道場という最高の練習環境のもとで、1日に8時間程度の練習に打ち込める体制にある。それに対し、わが朝日高校の練習時間は最大に取れても1日2時間、しかも試合コート半分の満たない狭い練習場、公式マットも買えない乏しい部の予算。普通に考えてみると、どう転んでも全国大会に出場できる要素はゼロなのである。しかし……（この空白の部分が朝日高校空手道部の真骨頂であると思える。）つまり彼らが勝利するためには、高邁な理想を持ち、限られた時間の中で自分の頭で考え、修正し、そして自分の空手道を生み出

す努力をすることしかないのである。その証明が前述の赤野（同志社大）、西村（東京大）、坪井（首都大）等である。彼らの想像を絶するような、家庭で深夜、勉強の合間に、自分独自の空手道を確立するための真摯に努力していく姿勢が、彼らに究極の勝利をもたらしたものと思える。2006年に早稲田大学ラグビー部に大学選手権優勝という栄冠をもたらした清宮監督が「監督になってまず変えたことは、長い練習時間を2時間練習にしたことだ。」と著書に書いているが、以上述べたことと同様の趣旨であると思える。

もう一つの好調の要因は、「突出したエリートもよし、またあまり才能には恵まれなすがコツコツと着実な努力をするカメさんもよし」、とする全てを包み込んでしまうような雰囲気のカンパスで部員達が生活でき、着実な人間的成長を遂げていることである。全国大会に出場して活躍できた選手を見てみると、上達すればするほど威張ったところが消え、謙虚で自分に厳しく他人には優しくなっているように見える。そのことが他の部員たちにも好影響を与え、堅くて強い信頼に満ちた集団の団結力が生まれきているようである。最後に、自分も武道をしてきた人間として、一言述べて

筆をおきたい。武道というのは生死を賭けた所から発祥し、その勝負に挑む者はすべて恐怖心から、自己の内部で勝負から逃れたいという弱い自分との激しい戦いをしているものと思える。そのことに敗れて挑んでいつている現在の部員達には心から拍手を送り、共に成長していきたくと思う。（顧問 芝田 敬）

ラグビー部紹介

「メンバーが足りません」サッカー元日本代表の井原正巳氏のCM通り、県総体を目前に控えた今、近い将来のラグビー部の状態はまさにメンバー不足である。そこで、依頼された内容とは少々異なるが、同窓会の方々にラグビーの素晴らしさをご理解頂き、ご息や知り合いの中学生に是非、声を掛けて頂きたい。朝日のラグビー部は「いいチーム」である。「強いチーム」ではない。昨年まで早稲田大学の監督を務めた清宮克幸氏曰く、「タックルした選手がすぐに起きて、また走ってプレーを続ける。そんな場面が随所にある。それだけでいいチームですよ。」その意味で朝日は「いいチーム」なのである。その根底には自己犠牲の精神が満ち溢れ、チーム目標達成に向け各自の責任を果たす為の継続した練習の成果と、周囲の人々への敬意

と感謝の念があることは言うまでもない。現代の社会では個人主義を通り越して利己主義が横行し、自己抑制出来ない若者が増えてきている。その中で、朝日高校が求められているものは何か？「現在」を学び「過去」に対する想像力を働かせ「未来」を創造できる人材の育成である。その為には学力は勿論のこと泥臭い努力と工夫の末につかみ取った「自信」が必要となる。特に後者を合理的に獲得する手段が部活動であり、その中でもラグビーであることは胸を張って言うことが出来る。同窓会諸氏、朝日の中でラグビーに憑かれた男の戯言と取って頂いても構わない。しかし、あえて言わせて頂きたい。「今、朝日にはラグビーが足りない。」

